

欲求-願望-要求モデルとパターン

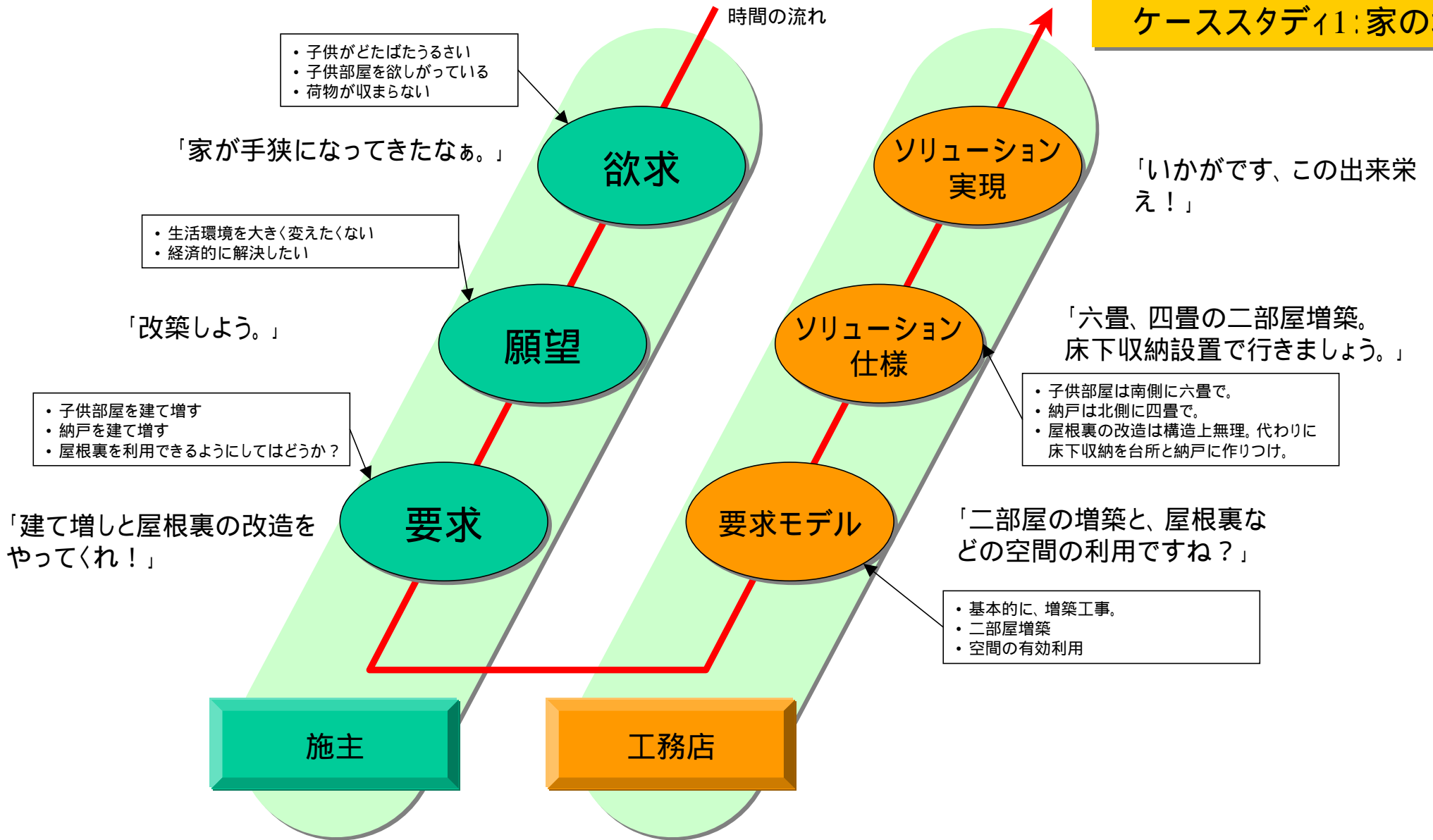
細谷竜一

第7回パターンWG勉強会

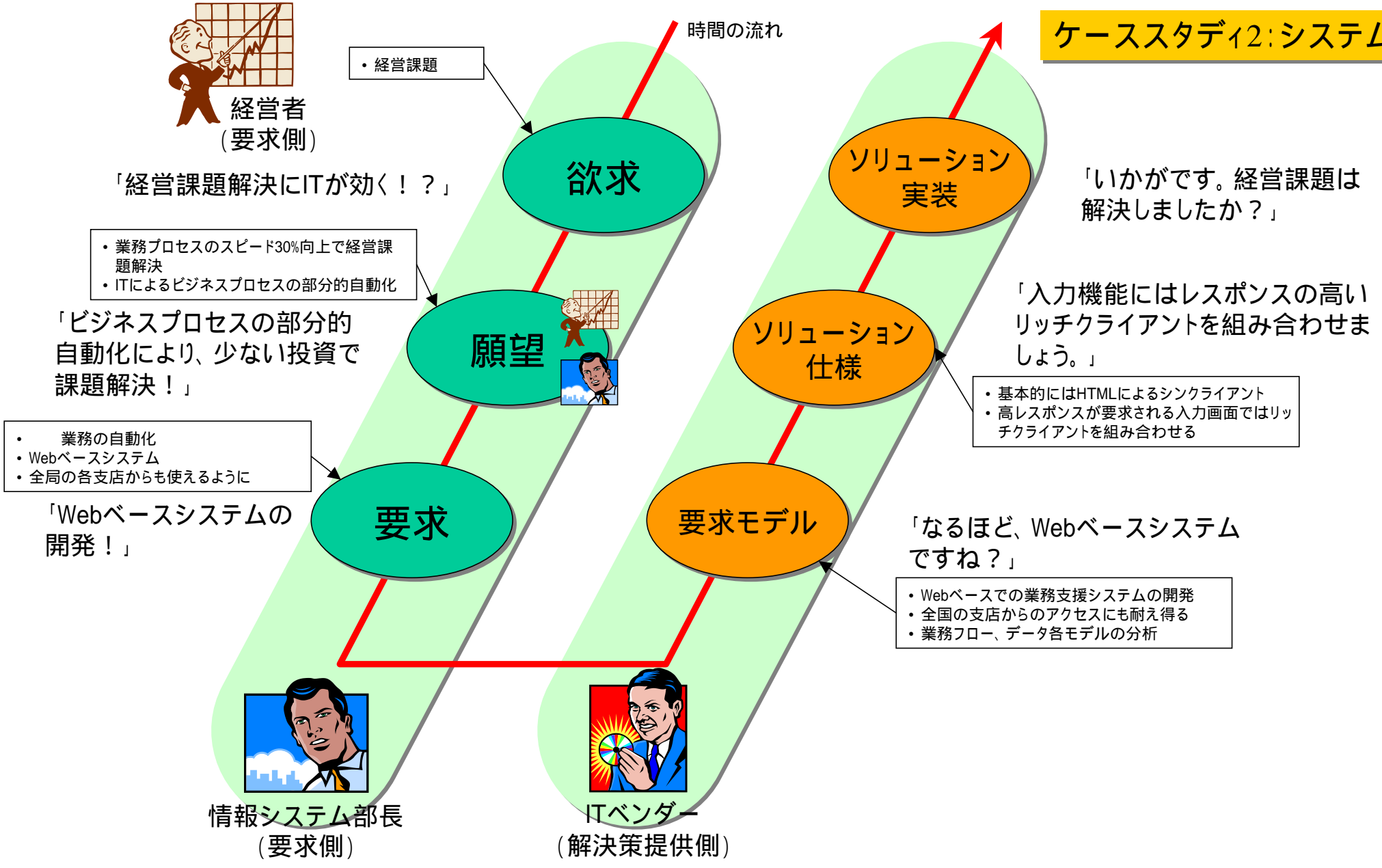
ライトニングトーク

2004/8/4

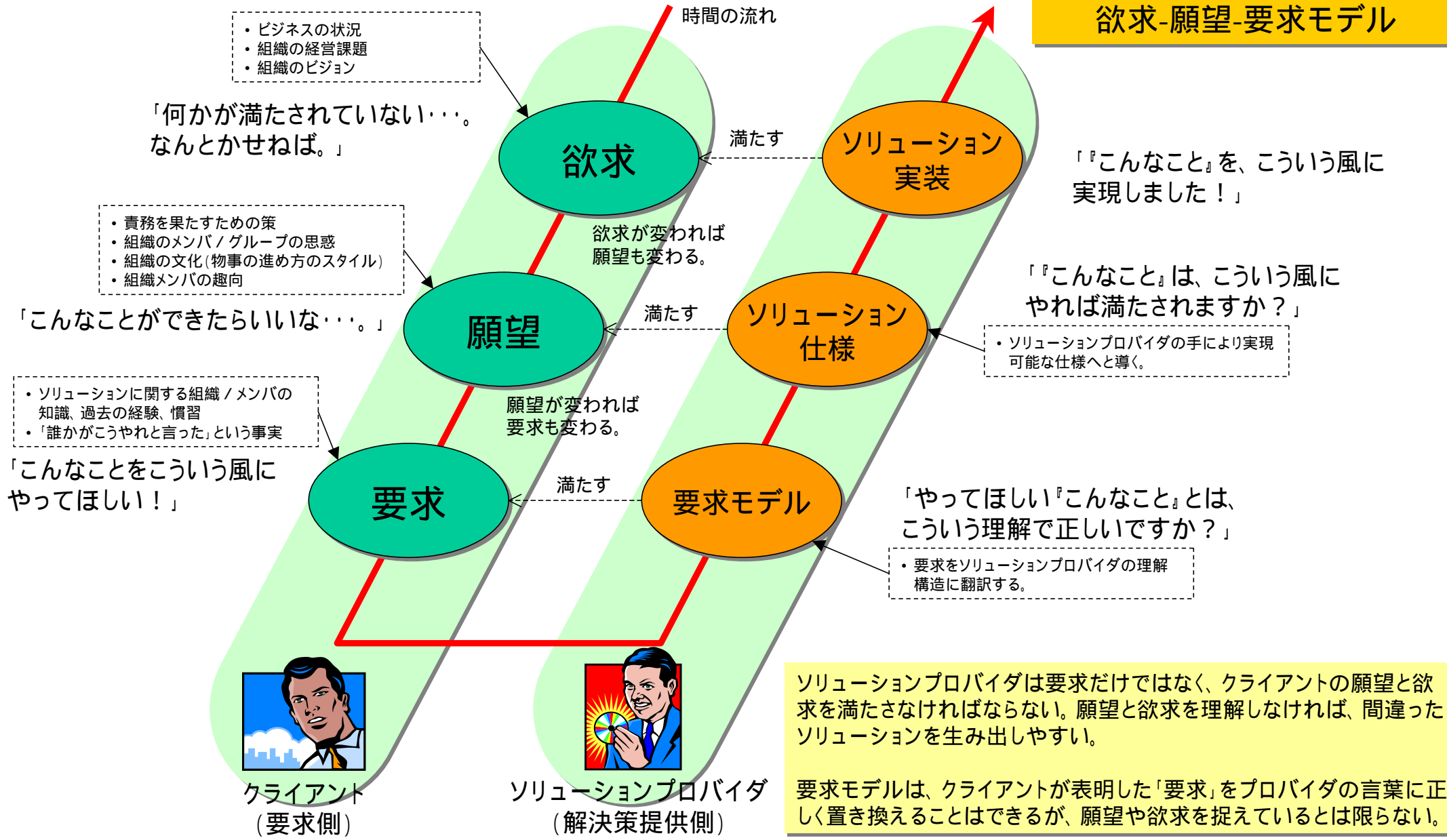
ケーススタディ1: 家の増築



ケーススタディ2: システム開発



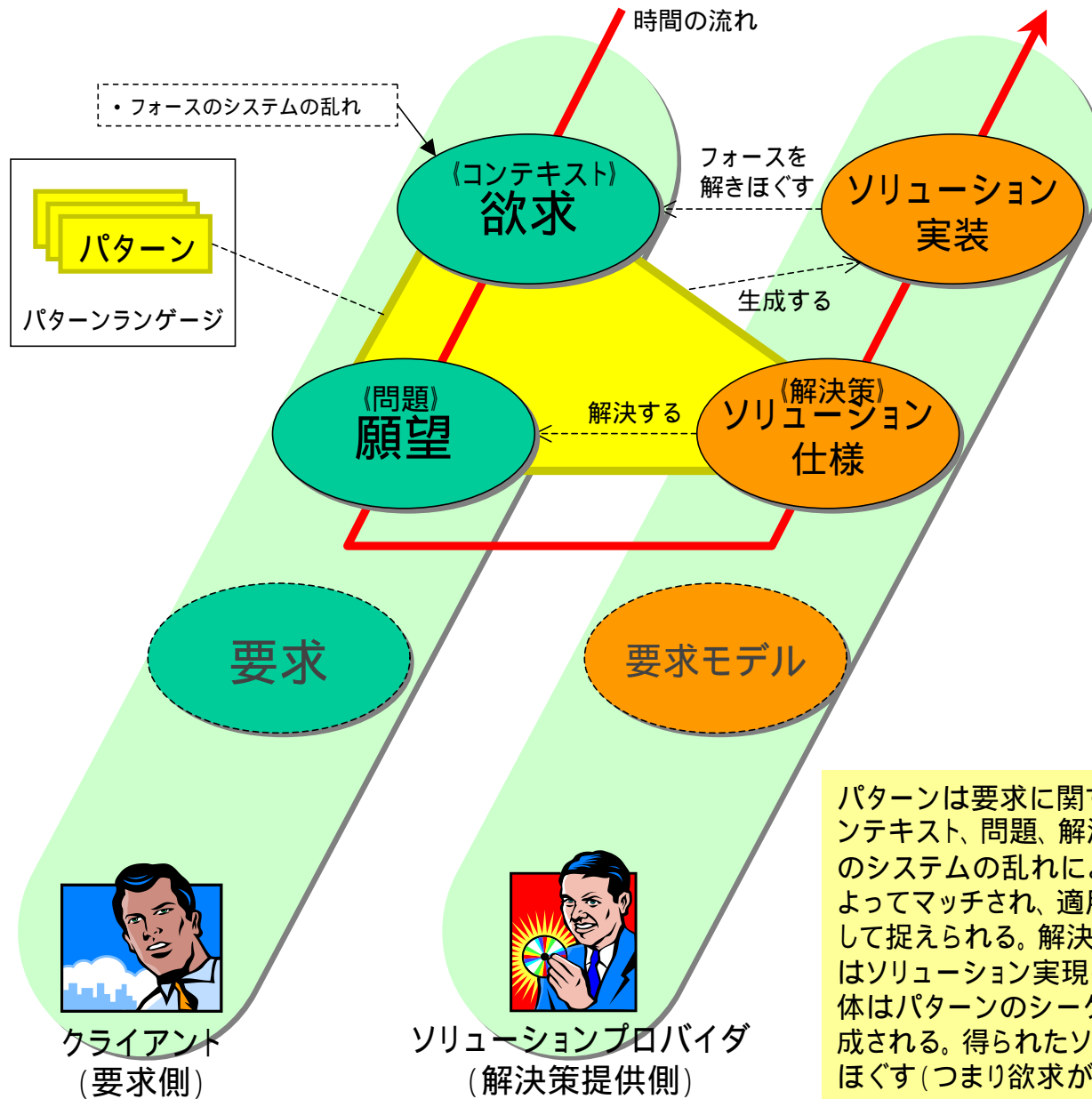
欲求-願望-要求モデル



ソリューションプロバイダは要求だけではなく、クライアントの願望と欲求を満たさなければならない。願望と欲求を理解しなければ、間違ったソリューションを生み出しやすい。

要求モデルは、クライアントが表明した「要求」をプロバイダの言葉に正しく置き換えることはできるが、願望や欲求を捉えているとは限らない。

欲求-願望-要求モデルとパターン



パターンは要求に関する段階を省いて解決策を導く。パターンはコンテキスト、問題、解決策から成る[Alexander79]。欲求はフォースのシステムの乱れによって引き起こされる。欲求はコンテキストによってマッチされ、適用すべきパターンを特定する。願望は問題として捉えられる。解決策はソリューション仕様を生成する。パターンはソリューション実現の一部を生成する。ソリューション実現の全体はパターンのシーケンスすなわちパターンランゲージによって生成される。得られたソリューション実現はフォースのシステムを解きほぐす(つまり欲求が満たされる)。